

# 自治会に加入し、災害に備えよう!



「東林間自治会ホームページ」 <http://www.higashirinkan.org/>

第189号  
 自治会 東林間自治会  
 法人 田村久司  
 発行 広報部  
 編集 広報部  
 相模原市南区東林間4-32-5  
 TEL・FAX 742-8297  
 TEL 851-5010  
 印刷 南青史堂印刷 TEL 748-3921

**東林間自治会 役員の募集**

自治会役員になりませんか  
 自薦、他薦を問いません  
 事務所までご連絡ください



## 新年の挨拶

会長 田村 久司

新年あけましておめでとうございます。平素から自治会活動にご理解・協力くださりありがとうございます。

昨年11月に能登半島地震の被災地を訪れ、未だに家屋倒壊など多くの爪痕が残されており早期復興を望みます。

自治会主催の行事ではまず新企画のスタンプラリーで多くの子ども達が楽しみました。歩け歩けハイキングで、参加者はこもれびの森の緑に癒されました。少年対熟年野球大会は新企画の祖父対孫の対決もあり盛り上がりました。久々の東林間ふれあい広場の焼きいも祭りでは子ども達が焼きいもを手に取り喜んでいました。防災訓練に参加者は真剣に取り組みました。

皆さんに自治会館をすでに馴染みの会館としてご使用いただいております。よく自治会の地域活動が盛んだと人との繋がりも強まり、災害復興を速めると言われます。災害はいつやってくるかわかりません。日頃の備えが大切です。近所の見守り、助け合いを心がけましょう。

本年が皆様にとって良い年になりますようご多幸を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

来賓の方々



やさしさと

ふれあいのまち

東林間

# 賀詞交歓会

令和7年

自治会主催の賀詞交歓会が1月18日(土)、東林ふれあいセンターで開催されました。来賓に本村賢太郎市長を始め総勢79人の参集により、終始和やかに今年の地域の安全・安心を誓いました。名物のピンゴ大会は大盛り上がりでした。



ますますの発展を願ってカンパ〜イ



会長挨拶

東林間のまちは、閑静な住宅街で、派手過ぎず、地味過ぎないとても素敵なまちだと思います。夏には、東林間サマーわぁ！ニバルが開催され、まちの活気は最高潮に達します。商店街も地域に密着して親しみやすく、人情味あふれる雰囲気があります。それも、自治会の皆様の日頃の活動の賜であると、感謝の思いで一杯です。

(市議会議員)

## 防災・減災に向かって

相談役 大崎 秀治

東林間自治会の皆様、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。私は、昭和35年1月に上鶴間6丁目生まれ、地元の南大野小学校、上鶴間中学校を卒業しました。一時、相南に引っ越しましたが、27年ほど前から東林間2丁目に住んでおります。



## 異なる世代間の協力を

相談役 鈴木 秀成

住みよいまちづくりを進める上で、自治会は地域住民をつなぐ重要な役割を担っています。自治会活動では、防災訓練や清掃活動、地域イベントを通じて住民同士の交流が深まり、地域全体の一体感が生まれます。また、自治会は行政との橋渡し役として、地域の課題や要望を伝える大切な存在でもあります。

近年、ごみの集積場所を巡るトラブルや、管理が行き届かない空き家の増加など、地域が抱える課題が多様化しています。これらの課題解決には、住民同士が意見を出し合い、自治会を通じて協力して取り組むことが欠かせません。特に少子高齢化が進む中、異なる世代が協力し合う環境をつくることが求められています。自治会の活動が活発化することで、地域の安全や住環境の向上が図られ、住民一人ひとりの暮らしやすさが高まります。

私も市議会議員として、自治会の活動を支援し、住みよいまちづくりの実現に向けて全力で取り組んでまいります。自治会の皆さまと共に、誰もが安心して暮らせるまちを目指してまいります。皆さまのご理解とご協力が、より良い地域づくりの鍵となります。地域の未来を共に創り上げていきましょう。



たします。ご理解・協力をよろしくお願います。

滑化に向け取り組んでまいります。会員の皆様の東林間自治会に対するご理解・協力をよろしくお願います。

それらの情報共有、議事運営、記録の他に掲示板の補修、賀詞交歓会の運営も他の役員との協働で担っています。総務部は今後も住みよいまちづくりという自治会の目的のもとで全体的な視点から自治会運営の円滑化に向け取り組んでまいります。会員の皆様の東林間自治会に対するご理解・協力をよろしくお願います。

### 運営の円滑化を目指して

総務部部長 宇都木幸司

日頃から自治会活動にご理解・協力を賜り感謝しています。早いもので令和7年も1ヶ月過ぎました。

本部役員、地域役員の多くが昭和生まれ。そして今年は昭和で数えて百年目。豊富な人生経験を活かし、私も総務部担当として他の役員の協力を得ながら自治会運営の一翼を担っています。総務部は、ここに住む会員の皆様へ暮らしていく中での大事な情報共有を目指し、掲示板や掲示板を使って行事などをお知らせしています。さらに規定にある役員会、区長会、総会の運営に関わっています。中でも区長会、役員会議事の進行を司会者として勤めています。区長会や役員会の議事録も総務部で作成し、記録しております。



### イベントの充実に向けて

文化体育部長 林 義嗣

昨年の主な行事は例年通り歩けハイキング、少年対熟年野球大会でした。この野球大会の中で新企画として「お爺ちゃん対お孫さん」の対決も見られました。地区連主催とうりんスポレク大会は天気急変で中止になりました。

7年度はポッチャ大会を新たに開催する予定です。そのため、当部では会員を募り、講習会をとおして参加者の腕をあげてもらおうことを期待しています。なお、東林間自治会館のホールが少し狭いので独自のコートサイズでの練習を計画中です。

過去、ボーリング大会、卓球大会などのイベントを実施してきました。しかし、ボーリング場の閉鎖、卓球に関しては参加者の減少などもあって廃止になりました。地区連主催の体育祭もコロナの影響で中止、令和4年度からとうりんスポレク大会に生まれ変わりました。

今後、会員の皆様、本部役員、区長さんにも協力をいただきバードゴルフなど新たなイベントを募集いたします。

文化体育部では様々な状況やご意見なども考慮し、皆様が楽しめるようなイベントの充実を図りたいと考えています。

東林間自治会、文化体育部をよろしくお願いたします。





“危ない!” 事故の再現シーン

東林地区スケアー・ストリート方式自転車交通安全教室と交通安全キャンペーンが12月7日(土)、午後1時30分から東林小学校で開催。主催者は南区安全・安心まちづくり推進協議会東林支部(支部長・田村久司東林地区連会長)です。

**自転車交通安全教室**

開会式の後スタントマンによる自転車交通安全教室が行われました。この目的は学習者の目の前で交通事故を再現することにより「恐れ」や「ヒヤリハット」する場面を体験してもらい交通安全の意識の醸成と効用を図る教育のためです。

参加者は地域住民約70人、交通安全母の会、地区連、むつこ会の役員、警察官、スタントマンなど約30人の合計約百人でした。地域住民へは、

チラシ配布の他PTA関係者で構成するラインによる呼びかけがありました。

教室の主な内容はライト、ハンドルなどの自転車の点検(ぶたはしゃべる)と交通事故の再現でした。

後者では自転車危険運転による事故の再現でした。それは①両手はなし運転②ケータイ注視運転③ヘッドホン音楽鑑賞運転④並走運転⑤逆送運転⑥2人乗り運転⑦斜め横断運転でした。そのほか参加者は危険運転でなくとも生じる「サンキュー事故」などの再現も体験しました。スタントマンは映画などの事故撮影で俳優に代行するプロなので怪我はありません。しかし一般人が交通事故に遭遇すれば大げがの元になります。

警察から「信号が青に変わっても、すぐに飛び出さない。確認してからわたるといふ確認作業が大切です」という総括的なお話がありました。

**交通安全キャンペーン**

その後の交通安全キャンペーンでは協力団体・交通安全母の会メンバーを中心に参加者へチラシ(年末の交通事故防止運動(12月11日~12月20日)、**手口を知って防ごうSNS投資詐欺!**)と反射ベルトなどの入ったビニール袋を手渡し、交通事故と犯罪の防止を呼びかけました。交通事故・詐欺にあわぬよう、くれぐれも注意しましょう。

無事故に努め 笑顔で生活



上鶴間4・5丁目巡回班のメンバー

東林間自治会は年末パトロールを底冷えの12月27日(金)に主催。このパトロールはコロナ禍であつても毎年継続されてきました。区長・班長さんは午後7時に自治会館に集合。参加者は76人で昨年より12人増加しました。

出陣式で南警察署の村山さんから「特殊詐欺、自転車盗難が増えています。挨拶だけでも防犯になります。声掛けが大切です」というお話がありました。

南消防署東林分署の原さんから「救急搬送の増加から東林分署にも救急車が導入されることになりました。安心して下さい。拍子木の音が火災防止になります。頑張ってください」というお話でした。

来賓者の紹介の後、木全交通防犯部部长から年末パトロール実施方法の説明がありました。主な内容は次のとおりでした。

- ・東地区、西地区は世帯数が多いのでそれぞれ2グループ。南地区、北地区はそれぞれ1グループ。合計6グループを編成。巡回コースを1時間程度で回れるよう各グループで工夫すること。
- ・防犯灯の球切れ、不審物、放置自転車、駐車違反などがあれば記録してください。
- ・拍子木を「火の用心」「戸締り用心」それぞれ発声後2度叩くこと。
- ・区長・班長さんは巡回の途中で自宅の近くに來たら流れ解散です。

巡回の結果、防犯灯新設希望が3件ありました。東亜警備による年末年始終日巡回は会社の都合で中止になりました。



午後8時ごろ住宅街を巡回する区長さん達



東林地区防災訓練が晴天の11月24日(日)、地区内小中学校避難所などで行われました。この訓練は、震度5強を想定し、住民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため実施されます。訓練は①発災後身を守る自助訓練②近所の安否を確認する共助訓練③自宅から一時避難場所、避難所への避難訓練④各避難所の独自訓練が展開されました。

### 上鶴間中学校避難所

主な内容は①通信訓練②貯水入替訓練③プール水確保訓練④車椅子訓練⑤炊出訓練でした。  
 ・通信訓練は避難所と現地対策班(まちづくりセンター)との間で受け入れの可能性に関する内容の無線



年中行事の貯水入替訓練



段差に注意! 車椅子訓練

通信です。しかし相手の無線機設定の関係で通信できず、スマホで対応。  
 ・貯水入替訓練では12個の18ℓ入りポリタンクの水を取り替えました。水は花壇などに散水。(上段写真)  
 ・プール水確保訓練は小型排水機を導入し、プール水をトイレ近くの大型ポリ容器に注水する訓練です。  
 ・車椅子訓練は一時避難場所からの車椅子避難者の対応訓練です。(写真)

・炊出訓練ではアルファ化米を温め、パック詰め、カレーとセットで持ち帰ってもらいました。  
 なお発災時に避難所が満杯で受け入れできない世帯は避難所で在宅避難登録後、飲食料を取りにきてもらうことを伝えました。  
 反省会では予備の靴入れ袋が必要、段差に蛍光テープを貼る、パーションの展示などの要望ができました。

### 東林小学校避難所

ここでは①施設安全確認訓練②物品確認訓練③仮設トイレ組立訓練④炊出訓練⑤警備通信訓練でした。  
 ・施設安全確認訓練では参加者を4班に分け校内を安全確認しました。  
 ・物品確認訓練では備蓄倉庫に仮設トイレキット・毛布・ビスケット・医療関係品などを確認。(写真)  
 ・仮設トイレ組立訓練では車椅子対応などのトイレがあります。今回は一番簡単にできるマンホールトイレを設置しました。(下段右写真)

・炊出訓練ではアルファ化米の試食で最も関心の高い訓練でした。お湯を入れて蒸す。はじめにアルファ化米だけを食べ、次いでふりかけをかけ食しました。「思ったより美味し」との感想でした。(下段左写真)  
 アルファ化米は3日分程の備蓄量です。



備蓄倉庫の物品確認訓練



マンホールトイレの組立訓練

・警備通信訓練は正門・東門・南門で避難者数を把握し、独自購入のトランシーバーを用い迅速に受付(管理班)へ伝達する訓練でした。  
 反省会では避難所は災害後すぐ開設できないこと、在宅避難者への物資配布の仕方、役員を中心に参加者全員で協力し合う必要性などの話ができました。



アルファ化米の炊出訓練



福祉部部长 阿部 匡秀

自治会は11月22日(金)、自治会館で、おしゃべりサロンを開催。午前10時から11時までの1時間です。前半は情報共有の時間。身近な話題や生活に役立ちそうな催しの開催情報などを中心に行われました。

後半は数人のグループに分かれておしゃべり。その中身は決まりがなくなんでも自由です。

おしゃべりの効用は言葉のキャッチボールにより脳の活性化につながるといわれています。また、人々からの孤立を防ぐことができます。自治会館まで足を延ばすという行動がすでに前向きな気持ちのあらわれです。

お茶とお菓子と和やかな雰囲気でお待ちしています。



おしゃべりは楽しい!



言ったり、聞いたりというやり取りが楽しい... 充実した時間

1月のおしゃべりサロンは晴天の24日(金)に開催されました。参加者は13人。前半は、阿部福祉部長から川島隆太東北大学教授著『脳の老化は自分で防げる』を参考にしたボケない3原則(①読み・書き・計算②コミュニケーション③手先を使う)について何かを作る)のお話でした。その後参加者一人ひとりから具体的な取り組み報告が。それは料理、ポーチ作り、野菜作り、大正琴の演奏、新曲を覚える、階段の上り下り、フトンの上げ下し、文章作成などでした。

後半は3班に分かれてのフリートーク。A班の内容は専らプランターなどによる野菜作りの方法。B班は大正琴と遊歩道沿いに咲いている花について。C班は境川沿いの遊歩道とサイクリングなどでした。次回は2月28日(金)午前10時から予定。3月は休止です。



自治会情報提供の方法は次のとおりです。

**回覧板、掲示板**では行事などを案内しています。回覧板を見て行事に参加したという人もいます。**機関紙**『東りんかんふれあいだより』では主に行事の結果を3か月に1回のペーjusで報告し具体的内容がわかります。**ホームページ**では行事案内と結果の概要を速報。その他に回覧板などでは不十分なため**戸別訪問**により口頭で呼びかける場合もあります。

このように情報提供する手段は多岐にわたります。だが、その割に行事などの参加が追いついていません。例えば東林間西口まつりは口コミでも賑わう。防災訓練はその逆です。

防災訓練のような社会的に有意義な行事でも個人的にみれば、私は大丈夫。地盤が固い。災害対策は行政が行うもの"と思いついていてる人がいます。戸別訪問による呼びかけがあつて初めてお付き合いで参加という人も。そのような人に限って人命にかかわる大震災にあうと行政に苦言を呈したり、被災者は我のみに非ず"と慰め、自らの考えを正当化させようとしています。

このように、情報を提供し、それを受け止め(共有)ても、個々人の考え方が参加に影響します。皆さん災害に備えていますか。

広報部部长 日暮 賢司



この施設は3〜4時間単位で利用できる東林間自治会が受付。1月時点の予約状況は1月7割程度、2・3月で6割程度。利用団体が計画的に予約しています。主な活動内容は麻雀とカラオケです。



カラオケを楽しむむつご会メンバー



東林間2丁目、小田急線沿い義澤ゴルフ練習場近くの広い未利用地。(写真)長年、波トタンで覆われていました。そこは相模原市の所有地。自治会は市に対し活用について検討を依頼しています。有効利用していただきたいものです。



長年空き地に...

### 第4回区長会

区長会が冬晴れの12月14日(土)、自治会館で開催。参加者は50人(参加率58%)。主な内容は区長・班長手当てと年末パトロールについてでした。

・会長から担当役員募集とゴミ資源化へのお話がありました。

・1区45会員(世帯)を例に、区長手当ては通信費を含め年間8千円。会員数の多い区で増加し、任期が短くなると減少。班長手当ては会員1世帯当たり60円。これも会員数が多い班で増加し、任期が短くなると減少。

・年末パトロールに区長・班長さんは12月27日(金)19時、自治会館へ集合。19時20分から東西南北に分かれ1時間パトロールします。

・賀詞交歓会が1月18日(土)、午前10時30分から東林ふれあいセンターで行われます。

・次期会長・監事選考委員会委員に4人の区長さんをお願いします。



田村会長の挨拶に耳を傾ける区長さん

### 焼きいも祭り



焼きいもを手に喜ぶ子ども達

自治会主催の焼きいも祭りが晴天の12月8日(日)、林間公園、松蔭公園、東林間ふれあい広場で行われました。

前2者は例年通り。後者はコロナ禍と上鶴間1区子ども会の解散による中止もあつて5年ぶりの復活です。紙面の都合で後者を紹介し、参加者(応募制)は子ども23人、保護者27人、自治会役員10人の合計60人。相南、東林間からも11人参加。子ども達は午前9時に集合、紅はるかという品種のさつまいもを新聞紙でくるみ、水で濡らし、アルミホイルで包むという準備作業を担いました。そして焼きあがるまでの間ポツチャゲームを楽しんでいました。

子ども達は10時半ごろに焼きあがった焼きいもを受け取り帰宅しました。再度訪れる子どももいて「家で食べておいしかった。まだあるの?」という催促も。自らの手で準備作業を行い感慨深かったのでしょうか。

### 東林間剣道部 餅つき交流会

東林間剣道部は12月22日(日)、自治会館前で餅つき交流会を開催。餅つきは「コロナ」などの特別な年を除き50年以上前から続けられています。参加者は部員など約30人に加え横浜十日市場剣友会から約10人の参加で合計約40人でした。もち米は東林間神社(総代斉藤真也氏)からの寄贈品。蒸かした餅米は15kg。

餅つき交流会は午前9時頃から老若男女交代で12時頃まで続きました。中でも稽古で鍛えあげた両団体剣士の餅つく姿は決まっています。(写真)つきあがった餅は、まず神社奉納用のお供え餅となり保存。その後、きなこ、あん、納豆、しょうゆなどと共にいただき、交流を深めました。つきあての餅を頬張るまめ剣士達の笑顔が印象的でした。



声だしてテンポよく餅つく両雄

上鶴間7丁目にご夫婦でお住いのHさんは定年退職後ボランティアを。過去40年間積み上げてきた防災対策は次のとおりです。

・住宅(築45年の戸建て)①屋根の瓦からスレートへの葺替え(軽量化)②耐震工事(写真)③感震ブレーカーの設置。(通電火災対策)

・室内L字金具で書棚などを、粘着マットで家電を固定。

・備蓄①飲用保存水と水道水の備蓄。後者は年1回の入れ替え(写真)

②簡易トイレ、寝袋、ブルーシートの備蓄③枕元に安全靴、ヘッドライト、ヘルメットなどを。子笛はキーホルダーに。

・平時時併用①寝室に携帯ラジオ、スマホ、軍手、ボールなどを②トイレトーパー・乾電池・非常食(缶詰、乾物など)を多目に購入③石油ストーブ・蓄電器(停電対策)、カセットガスボンベ、ジャッキなども。

・持出し用①ウエストポーチに小銭、薬、ウエットティッシュなどを②リュックに洗面用具、めがね、鉛筆、緊急簡易トイレ、保温シートなどを常備。

防災対策の歴史を感じさせますね。





年末・年始の終日巡回警備が警備会社の都合で中止になりました。青パト、防犯パト、年1回の年末パトロールの重要性が増しています。

東林地区連主催の青パト・防犯パトは地区内自治会の分担で展開されています。  
11月の青パトは晴天の6日(水)、午後2時から約2時間、東林間自治会管内を車でパトロールし交通安全、詐欺被害防止を呼びかけました。  
一方の防犯パトでは12月に入り日が短く寒くなった13日(金)、午後4時から徒歩で1時間程度パトロールしました。特に自転車盗難が多発しており注視しながらの巡回でした。

## 青パト・防犯パト

### お知らせ



(カット) 柳沢行一郎

田村 久司	東林間自治会会長
宮崎 安通	東林間自治会役員代表
高安 孝至	東林間自治会監事
古田 誠	東林間自治会北1区区长
若狭 克男	東林間自治会南4区区长
千葉 善永	東林間自治会西17区区长
安達 則昭	東林間自治会西11区区长
堀内 初依	東林間自治会東14区区长
水口 定	東林間自治会東6区区长
大内 良望	東林間剣道部代表
酒井 光政	くぬぎ台地域活動施設運営委員会委員長
吉原八枝子	東林間むつご会代表
沼田 慈子	東林ふれあいあいの森を愛する会代表
土方 圭司	東林少年野球連合会総務部長
小湊 秀男	東林地区民生・児童委員
古木 昇	東林間自治会相談役
阿部 匡秀	東林地区社会福祉協議会会長
松井 昭治	東林公民館スポーツ推進委員会代表
大石 方哉	東林間商店街振興組合理事長
長岡 彰	東林間児童館館長

東林間自治会は、令和7年度の自治会会長及び監事の改選年度を迎え、規約第8条第1項により選考を次の方々に委嘱しました。  
(順不同、敬称略)

### 会長・監事選考委員

## 行事予告コーナー

**うどん作り**

日時 2月22日(土)  
午前9時30分

場所 東林間自治会館



**ふれあい交通安全教室**

日時 3月1日(土)午前10時

場所 東林間ふれあい広場

**令和7年度総会**

日時 4月29日(火)午前10時

場所 東林間自治会館

## 受賞 小野俊己氏

東林間2丁目にお住いの小野俊己氏は、長年の地域美化活動により神奈川県美化推進功労者として神奈川県知事から11月20日に表彰されました。おめでとうございます。今後も健康に留意され、益々のご活躍を期待いたします。



※計報欄掲載希望者おりませんのでした。前号計報欄の三ツ橋和江様は三ツ橋和近様です。お詫びし訂正申しあげます。

### 福豆節分祭

東林間神社の節分祭が曇天の2月3日(月)に催されました。新設された豆まき舞台の周りに多くの人々が集まりました。参加者は参集殿から撒かれた福豆を拾い、無病息災を願いました。



福はうち～  
福はうち～

今年の元旦は、暖かい日よりの中で東林間神社への初詣でした。他方、東北、西日本地域は稀に見る大雪で生活に困難を強いられています。  
さて、今年の干支は、60年に一度の乙巳(キノトミ)年です。巳は脱皮を繰り返し成長することから、復活と再生のシンボルとして、縁起が良いとされています。「巳」は「生まれる」「将来がある」といった意味や、「み」とも読めることから、お金が身につく、努力が実るとの意、味合いがあるそうです。なによりもご健康での生活が一番でしょうか。

副会長 杉山 伸一